

血管外科

河内 秀臣 医師をご紹介します



専門(資格)

- 医学博士
- 日本外科学会専門医
- 日本脈管学会認定脈管専門医
- 血管内治療認定医
- 腹部ステントグラフト指導医
- 臨床研修指導医
- 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施医

はじめまして。2018年5月より木村病院に勤務しております。「河内秀臣」と書きまして「かわちひでおみ」と申します。

日本大学板橋病院で血管外科を専門にしておりました。

副院長の木村玄先生とは同級生で、同じ心臓血管外科教室で研鑽を積みました。このたび木村玄先生が血管外科を立ち上げられ、下肢静脈瘤や透析用バスキュラーアクセス手術を始められました。さらに今後は私の得意分野であります足のしびれや歩行時の痛み、壊死にいたることもある閉塞性動脈硬化症の患者さんを、カテーテル治療やバイパス手術などで治療させていただきます。一人でも多くの患者さんに元気になっていただけるように、また、木村病院を受診してよかったと思っただけのような診療を心がけて参りますのでよろしくお願いたします。

動脈疾患

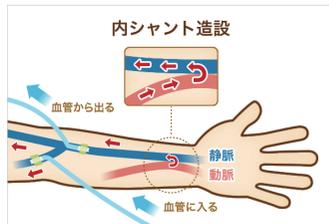
下肢の虚血症状に対して、ABI や超音波検査、3DCT で血行を評価し、血管内治療やバイパス手術などの血行再建を行います。

静脈疾患

下肢静脈瘤に対する精査、日帰りもしくは短期入院での高周波焼灼術。さらに深部静脈血栓症に対する治療を行います。

バスキュラーアクセス

透析用バスキュラーアクセスの作製手術。カテーテルでの修復術や血栓除去手術などを行います。



ほっとニュース

発行：社会医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

社会医療法人 一成会 理念



2017年度 クリニカルインディケーター

社会医療法人 一成会 理事長・院長 木村 厚



今年の4月は、2年毎の診療報酬改定と3年毎の介護報酬改定が重なる同時改定の年でした。私たちが毎月支払っている社会保険料を適切に使うこと、高齢社会で社会保険料がパンクしないように、いかに抑えるかが課題となっています。高度な医療機器を使った手術が保険適応になるといった注目される事は新聞報道されていますのでご存知の方も多いと思います。当法人の収入はこの診療・介護報酬で決められるので法人にとってはとても重大な事です。

さて、この号は毎年お伝えしている『クリニカルインディケーター』を特集しています。この数字は、病院がどのような診療をしているかを数字で表しているものです。東京都や、関東信越厚生局に度々報告する必要のある数字です。

2017年度は2016年度に比べて全般で数字が伸びています。特に外科の手術件数は465件(2016年度)が564件(2017年度)と約100件増加しています。2017年度から開設した血管外科による下肢静脈瘤の手術がその要因になっていると考えています。今年度は血管外科の専門医がもう一人増えていますので、もっとこの領域でお役にたきたいと思っています。また、救急件数も875件(2016年度)が82件増えて957件(2017年度)となっています。病床稼働率は病院全体で高い数字を維持しています。急性期の病床稼働率も95.4%と高い稼働率となっています。平均すると毎日1.9ベッドしか空いていないことになります。救急車の受け入れのために夕方には2ベッド用意するようにしていますが、なかなかままなりません。当院のかかりつけの患者さんでも他の病院へ搬送されてしまう場合があります。当院をご希望になれば、ベッドが空いた時点で転入院することも可能ですのでその場合はご連絡ください。

また、医療連携が盛んになり、患者さんの状態に適した医療機関や施設へご紹介したり、ご紹介いただいたりしています。他院から当院への紹介件数は577件(2016年度)が721件(2017年度)と144件増え、当院から他院、他施設への紹介件数も990件(2016年度)が1,085件(2017年度)と95件増えています。他施設への転院等については、MSW(医療ソーシャルワーカー)と専任の看護師が対応いたしますのでご安心ください。

訪問看護ステーションみどり・わかばの数字も今回は載せています。20年の歴史を持つ当法人の訪問看護ステーションは荒川区の草分け的存在です。2017年度は在宅看取りも22件担当しました。安心して、その方らしい終末期を送ることができるように心を込めてお手伝いしています。

2017年度 クリニカルインディケータ

病院の機能や診療の状況を示すさまざまな数値をお伝えします

外来延患者数 38,728人/年 (131.1人/日)



外来診療を受ける患者さんの数です。この中には救急車で運ばれて来た患者さんも含まれています。毎日の患者数を足し合わせて、年間の述べ患者数になっています。

専門外来には、女子医大東医療センター、日本医科大学、日本大学、帝京大学等の医師が出張して診察しています。大学病院のの外来受診するときに必要な「選定療養費（5000円以上）」を払う事なく、大学病院の専門科医の診察を受けられます。

手術件数 716件/年

手術の内訳

外科 564件
整形外科 120件
皮膚科 32件



2016年度に比べると外科の手術件数が100件増えています。2017年度から始めた血管外科の手術の件数も増えて来ました。今年度から専門医も二人になりました。下肢静脈瘤の日帰り手術や透析の患者さんのシャントトラブルにも対応しています。血管外科については詳細を紹介している別紙もあります。

内視鏡検査件数 483件/年

上部内視鏡 348件
下部内視鏡 135件



内視鏡検査は、迅速に検査ができるように検査日を増やしています。少しでも気になる症状のある方は医師にご相談下さい。不安な方は、入院して検査することもできます。

画像検査件数 CT撮影 3,189件/年



開業医の先生と連携して、検査の依頼を受けています。CT検査の他、エコー検査等の痛みのない検査もいろいろあります。昨年度より56件増えています。

新規入院患者数

755人/年

昨年度より34人増えています。



平均在院日数

2階 急性期病棟 18.6日
2階 地域包括ケア病床 34.9日
3階 障害者病棟 1,146日

2018年3月の数字です

「平均在院日数」というと、皆さんは「平均入院日数（入院患者さんが平均して何日入院するか）」を考えるとと思いますが、それとは違います。役所への届け出で使われる特殊な数値で、病院はこの数値で厳しく監督されています。患者さんの入退院の入れ替わりの状況を示す数値です。当院の急性期病棟では、21日以内でなければなりません。

救急車受入件数 957件/年

入院 337件
外来 620件
(うち休日夜間 540件)



昨年度より82件増えています。

他院・他施設からの紹介患者数 721件/年

他の病院やクリニック・診療所、介護施設などから、紹介を受けて木村病院に来院する患者さんの数です。外来と入院があります。



他病院 → 木村病院

- ① 日本医科大学付属病院 81件
- ② 東京女子医大東医療センター 70件
- ③ いずみ記念病院 14件



診療所 → 木村病院

- ① 齊藤医院 22件
- ① 武田小児科内科クリニック 22件
- ③ 高橋医院 14件

木村病院は地域の病院として、患者さんが最適な医療を受けることができるようにすることが大切だと考えています。そのために、他の医療機関に紹介することも役割の一つと考え、たくさんの医療・介護施設と連携しています。2016年度と比べると連携が盛んになるにつれて他院からの紹介は144件増え、他院への紹介は95件増加しました。

訪問看護ステーション みどり・わかば

年間延利用者数 1,384人

年間訪問回数 8,241回

連携医療機関数 約80カ所

年間看取り人数 22人



当法人の訪問訪問看護ステーションみどりとわかばは、1997年2月に開設し、20年間の実績があります。近隣の医療機関のみならず、都内の多くの病院から信頼されて、重症患者さんの訪問看護を行なっています。

1日平均入院患者数・病床稼働率

2階 急性期病棟 (42床) 40.1人/日 95.4%
2階 地域包括ケア病床 (9床) 9.2人/日 102.3%
3階 障害者病棟 (37床) 37.0人/日 100.0%

木村病院の病床数は、88床あります。その88床に、1日あたり何人の患者さんが入院しているのかを表すのが、「1日平均入院患者数」です。全病床88床のうち、それぞれ何床が患者さんで占められているかという比率が病床稼働率です。地域包括ケア病床が100%を超えているのは、一つのベッドに午前退院・午後入院で、1日に二人の患者さんがいた日もあるからです。

他院・他施設への紹介患者数 1,085件/年

他の病院やクリニック・診療所、介護施設などへ、木村病院から紹介する患者さんの数です。

木村病院 → 他病院

- ① 東京女子医大東医療センター 114件
- ② 日本医科大学付属病院 101件
- ③ いずみ記念病院 23件



木村病院 → 診療所

- ① 齊藤医院 15件
- ② 小沼医院 11件
- ③ クズウクリニック 10件

